

SJクイズ ?

[問題編]

Q1

平成 28 年中の交通死亡事故件数を昼夜別にみた場合、
夜間※の割合は 次のうちどれでしょう？

※夜間=日没時から日の出時まで

- ①約 25% ②約 50% ③約 75%

Q2

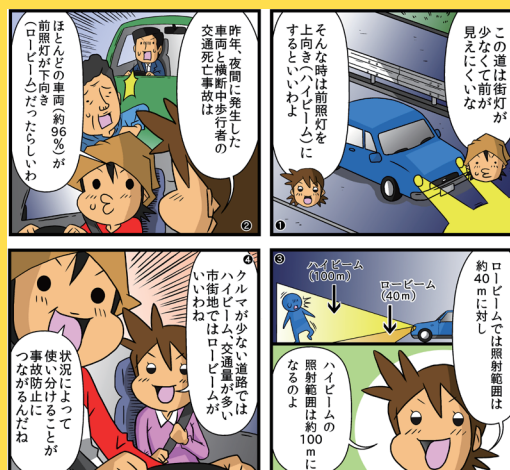
夜間の交通死亡事故件数を事故類型別にみた場合、人対
車両の事故が半数近くを占めていますが、その中で最も
多い事故類型は次のうちどれでしょう？

- ①対面通行中
（歩行者が相手方車両と対面して道路を通行中に発生）
②背面通行中
（道路通行中の歩行者の後方から相手方車両が進行して発生）
③横断中

Q3

クルマのヘッドライトでロービームの照射範囲は約 40m
ですが、ハイビームの照射範囲は次のうちどれでしょう？

- ①約 60m ②約 80m ③約 100m



【使用上の注意】

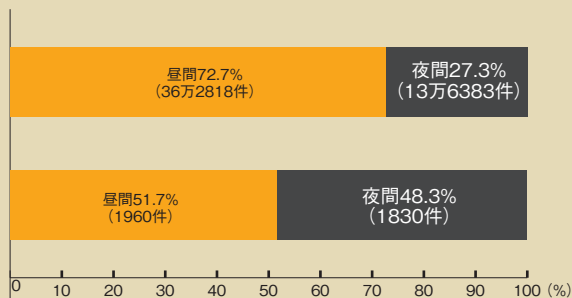
●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

Q 1 解答 ②約50%

<解説>

平成28年中の交通事故件数を昼夜別にみると、夜間は全体の約4分の1(27.3%)であるのに対して、死亡事故は、約半数の48.3%を占めている。死亡事故率は、昼間の0.54%に対して夜間は2.5倍の1.34%と高くなっている。夜間は事故を起こした場合、重大事故につながりやすいため、ドライバー・ライダーは昼間より速度を控え、注意して運転する必要がある。

●昼夜別の交通事故件数(上)と
交通死亡事故件数(下)(平成28年)



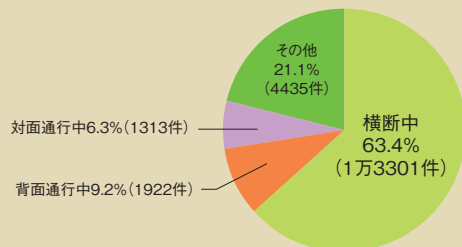
※出典：交通統計 平成28年版

Q 2 解答 ③横断中

<解説>

平成25年の夜間の交通事故件数13万6383件を事故類型別にみた場合、人対車両の事故件数は2万970件。このうち最も多い事故類型は横断中(1万3301件)で6割以上を占める。さらに、横断中の半数以上は横断歩道で事故が起きている。ドライバー・ライダーは夜間、横断歩道を通る時は常に歩行者の存在を予測しておかなければならない。一方、歩行者も夜間に外を歩く際は白や黄色など明るい色の服や反射材を着用するなど、ドライバー・ライダーに目立つようにしておくことが事故防止につながる。

●夜間の人対車両の事故類型別交通事故件数(平成28年)



※出典：交通統計 平成28年版

Q 3 解答 ③約100m

<解説>

国土交通省が定める道路運送車両の保安基準で、ヘッドライト(前照灯)の照射範囲は、夜間にハイビーム(上向き：走行用前照灯)で前方100m先、ロービーム(下向き：すれ違い用前照灯)で40m先の障害物を確認できるものと定められています。夜間は速度を落とし、ヘッドライトの上向き・下向きをこまめにきりかえましょう。

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業(株) 安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736